



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月5日

上場会社名 アルコニックス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3036 URL http://www.alconix.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹井 正人  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員経営企画 (氏名) 手代木 洋 TEL 03-3596-7400  
 本部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 2020年11月30日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	96,147	△18.8	2,459	△8.9	2,495	△15.9	1,212	△36.6
2020年3月期第2四半期	118,432	△8.7	2,699	△29.6	2,968	△20.8	1,912	△30.9

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,496百万円 ( 8.3%) 2020年3月期第2四半期 1,381百万円 ( △37.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	47.89	—
2020年3月期第2四半期	75.71	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	129,495	41,292	31.5
2020年3月期	134,463	41,277	30.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 40,756百万円 2020年3月期 40,481百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	21.00	—	21.00	42.00
2021年3月期	—	21.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	190,000	△18.2	4,500	△13.1	4,600	△15.1	2,400	△33.7	95.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2021年3月期の連結業績予想については、2020年10月27日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、[添付資料] 11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	25,943,100株	2020年3月期	25,915,700株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	834,407株	2020年3月期	272,071株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	25,323,385株	2020年3月期2Q	25,258,405株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界の経済環境は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による前半の急激な景気減速から回復に転じたものの、そのペースは緩やかであり、依然として先行き不透明な状況が継続いたしました。これを背景に中国においては政府主導の景気刺激対策により景気が急回復した一方、欧州においては感染再拡大の影響により内需は低迷いたしました。

我が国の経済は、緊急事態宣言発令に伴う外出自粛要請解除後、個人消費、生産並びに輸出は持ち直したものの、設備投資の抑制や企業収益の悪化等により本格的な回復には至りませんでした。

当社グループを取巻く業界は、自動車関連においては電装化、軽量化、自動運転技術といったことに関係する素材や部材需要の多角化が引続き進行しておりますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大から国内外の自動車需要が急減し、サプライチェーンが大きく混乱したことにより生産及び販売が低迷いたしました。一方、半導体・電子部品関連では、IoT、AI等におけるデータ通信量の増加や自動車の電装化進行、次世代通信規格（5G）の本格稼働により市場が拡大し、さらにオンラインでの経済活動の広がりやリモートワークの浸透を背景にIT機器、半導体関連部材の需要が伸びました。

このような経済環境のもと当社グループにおいては、半導体、情報通信関連向け需要の増加により半導体実装装置、半導体製造装置向け金属加工部品の出荷が堅調に推移した他、商社流通においてもスマートフォン等IT機器向け電子・電池材料の取扱いが前年同期に比べ増加いたしました。しかしながら国内外の自動車向け需要の低迷により、金属精密プレス部品、小型モーター向けカーボンブラシ等の製品出荷、及び商社流通における非鉄原料、アルミ圧延品並びに伸銅品等の取扱いが前年同期に比べ減少いたしました。なお、利益面においては前年同期に計上したレアメタルのたな卸資産評価損が概ね解消されこと等により電子機能材における利益は改善いたしました。上記の減収要因により営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結経営成績は、売上高96,147百万円（前年同期比18.8%減少）、営業利益2,459百万円（同8.9%減少）、経常利益2,495百万円（同15.9%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,212百万円（同36.6%減少）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。また、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

## ・商社流通－電子機能材事業

スマートフォン・タブレット端末向け部材は、新型コロナウイルス感染症の世界的影響による在庫調整から前年同期に比べ売上、利益は共に微減となりました。また、二次電池関連部材並びに環境関連部材の需要は、新型コロナウイルス感染症の影響のため第1四半期連結会計期間中頃まで低迷が継続したものの、その後の市場の急速な回復とともに、リモート・テレワーク需要をも取り込み、売上、利益はともに増加となりましたが、チタン・ニッケル製品の欧州向け輸出取引は新型コロナウイルス感染症の影響により売上、利益ともに減少いたしました。一方、レアメタル・レアアースについては磁性材向けレアアースの取引が増加いたしました。タングステン等のレアメタルは自動車関連需要の低迷により前年同期に比べ減少いたしました。

なお、前年同期に計上したレアメタルのたな卸資産評価損が概ね解消されたこと等により、セグメント利益は大きく改善いたしました。

この結果、当セグメントにおける売上高は28,162百万円（前年同期比24.5%減少）、セグメント利益は830百万円（同833.9%増加）となりました。

## ・商社流通－アルミ銅事業

製品分野においては、自動車の電装化・軽量化に伴う非鉄需要のトレンド自体に大きな変化は無いものの、新型コロナウイルス感染症の影響により世界的に自動車生産及び販売台数が減少したため、自動車関連部材は売上・利益共に前年同期に比べ大幅に落ち込みました。一方、巣籠もり消費の増加に伴いアルミ飲料缶材料やリモートワーク拡大によるパソコン、タブレット等IT関連部材の取扱いは堅調でありましたが前年同期実績には及びませんでした。原料分野におきましては、当第2四半期連結累計期間において、アルミ・銅の商品相場は上昇いたしました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、特に自動車関連需要が落ち込み、主力のアルミスクラップ、アルミ再生塊などの売上が前年同期に比べ大幅に減少いたしました。

この結果、当セグメントにおける売上高は48,073百万円（同22.1%減少）、セグメント利益は326百万円（同25.2%減少）となりました。

・製造－装置材料事業

めっき材料は米国拠点で半導体、電子部品向け需要が増加したものの自動車向け需要が減少し、中国拠点においても新型コロナウイルス感染症による需要減少と稼働日数の短縮が影響し出荷は前年同期に比べ減少いたしました。また、非破壊検査及びマーキングはプラント、エネルギー関連向けで大型非破壊検査装置の出荷等が増加し売上に貢献いたしました。一方、ブレーキ摩擦材向けカシュー樹脂製品、小型モーター向けカーボンブラシ、及び溶接材料の出荷は国内外における自動車需要の低迷により前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、当セグメントにおける売上高は11,314百万円（同8.5%減少）、セグメント損失は118百万円（前年同期は69百万円のセグメント利益）となりました。

・製造－金属加工事業

半導体実装装置向け研削加工部品は実装装置需要が前連結会計年度から引続き堅調に推移しており、出荷は前年同期に比べ増加いたしました。また製造コストの上昇等に伴い減益となりました。また精密切削加工部品においても次世代通信規格（5G）の本格化やリモートワークの拡大に伴う情報通信関連機器や半導体需要の増加等により、半導体製造装置向け切削加工部品の出荷が前年同期に比べ増加いたしました。金属精密プレス部品は、新型コロナウイルス感染症の影響により当第2四半期連結累計期間前半においては需要が急減した国内外の自動車関連需要が後半においては回復基調となり、主要取引先向け出荷が堅調に転じましたが本格的な回復までには及びませんでした。また、メキシコ事業においても現地における自動車需要低迷と事業立上げフェーズに伴う支出が先行したため収益を圧迫いたしました。

この結果、当セグメントにおける売上高は10,458百万円（同3.7%減少）、セグメント利益は1,460百万円（同38.2%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

a. 流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は89,821百万円であり、前連結会計年度末比5,604百万円の減少となりました。主な内訳は、受取手形及び売掛金の減少5,922百万円、たな卸資産の減少1,756百万円、並びに現金及び預金の増加1,935百万円であります。

b. 固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は39,673百万円であり、前連結会計年度末比636百万円の増加となりました。主な内訳は、有形固定資産、及びのれんを含む無形固定資産の償却による減少527百万円、及び投資その他の資産の増加1,164百万円であります。

c. 流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は61,519百万円であり、前連結会計年度末比4,014百万円の減少となりました。主な内訳は支払手形及び買掛金の減少4,427百万円、短期借入金の減少417百万円、コマーシャル・ペーパーの増加999百万円、及び1年内返済予定長期借入金の増加369百万円であります。

d. 固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は26,683百万円であり、前連結会計年度末比968百万円の減少となりました。主な内訳は長期借入金の減少724百万円、役員退職慰労引当金の減少377百万円、長期未払金の減少163百万円、及び社債の減少74百万円であります。

e. 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は41,292百万円であり、前連結会計年度末比14百万円の増加となりました。主な内訳は利益剰余金の増加674百万円、自己株式の取得による減少687百万円、その他有価証券評価差額金の増加813百万円、及び為替換算調整勘定の減少447百万円であります。

②経営成績

a. 売上高

売上高はグループ全体で減収となりました。取扱品並びに製品別でみると、商社流通では、スマートフォン・タブレット端末向け電池・電子材料、磁性材向けレアアースの取扱いが前年同期に比べて増加いたしました。また、アルミ圧延品、伸銅品、電池用鉛地金、アルミ再生塊、チタン展伸材の輸出取引、及びアルミスクラップ等の非鉄原料の取扱いは減少いたしました。

製造では半導体実装装置向け研削加工部品、通信、IT向け精密切削加工部品、及び非破壊検査・マーキング、及び試験機器関連で装置の出荷が前年同期に比べ増加いたしました。一方、めっき材料、金属精密プレス部品、小型モーター向けカーボンブラシ、カシュー樹脂製品、及び溶接材料の出荷は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比18.8%減少の96,147百万円となりました。

## b. 売上総利益

減収に伴う減益を余儀なくされたものの、半導体・IT関連での需要増加により電子材料関連、製造における収益の押し上げ、及び前年度に計上したレアメタルのたな卸資産評価損が概ね解消されたこと等により、当第2四半期連結累計期間における売上総利益は前年同期比7.2%減少の8,616百万円となりました。

## c. 販売費及び一般管理費

新型コロナウイルス感染症の影響で主に旅費交通費等の費消が削減され、連結子会社におけるコスト低減効果等により、当第2四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費は前年同期比6.5%減少の6,156百万円となりました。

## d. 営業利益

上記の結果、当第2四半期連結累計期間における営業利益は前年同期比8.9%減少の2,459百万円となりました。

## e. 営業外収益、営業外費用

受取配当金、及び持分法による投資利益の減少等により、営業外収支（営業外収益－営業外費用）は35百万円の収入超となりました（前年同期は268百万円の収入超）。

## f. 経常利益

上記の結果、当第2四半期連結累計期間における経常利益は前年同期比15.9%減少の2,495百万円となりました。

## g. 特別利益、特別損失

助成金収入等の特別利益41百万円を計上する一方、投資有価証券評価損等の特別損失35百万円を計上いたしました。

## h. 親会社株主に帰属する四半期純利益

税金等調整前四半期純利益2,502百万円から、法人税等1,254百万円、連結子会社9社における非支配株主に帰属する四半期純利益34百万円を差引き、当第2四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比36.6%減少の1,212百万円となりました。

## ③キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は23,509百万円（前年同四半期連結累計期間は22,812百万円）となり、前連結会計年度に比べ1,914百万円増加いたしました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な変動要因は次のとおりであります。

## a. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、5,378百万円の増加（前年同四半期は5,212百万円の増加）となりました。主な増加要因は税金等調整前四半期純利益2,502百万円、のれんを含む減価償却費1,896百万円、売上債権の減少額5,569百万円、及びたな卸資産の減少額1,687百万円であります。一方、主な減少要因は、仕入債務の減少額4,249百万円、法人税等の支払額1,298百万円、及び持分法による投資利益66百万円であります。

## b. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,126百万円の減少（前年同四半期は813百万円の減少）となりました。主な減少要因は設備投資等に伴う有形固定資産取得による支出1,357百万円、子会社株式の取得による支出249百万円、及び貸付による支出300百万円であります。

## c. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,157百万円の減少（前年同四半期は3,753百万円の減少）となりました。主な減少要因は短期借入金の純減少額165百万円、長期借入金の純減少額350百万円、親会社株主への配当金支払538百万円、及び自己株式の取得による支出687百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点においては、2020年10月27日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期連結業績予想を変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,754	24,690
受取手形及び売掛金	44,162	38,239
商品及び製品	20,810	19,252
仕掛品	3,353	3,291
原材料及び貯蔵品	1,936	1,800
その他	3,031	3,145
貸倒引当金	△622	△598
流動資産合計	95,426	89,821
固定資産		
有形固定資産	20,905	20,762
無形固定資産		
のれん	3,120	2,892
その他	3,576	3,420
無形固定資産合計	6,697	6,312
投資その他の資産	11,433	12,598
固定資産合計	39,036	39,673
資産合計	134,463	129,495
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,920	26,493
短期借入金	24,782	24,364
コマーシャル・ペーパー	—	999
1年内返済予定の長期借入金	4,027	4,397
1年内償還予定の社債	149	149
未払法人税等	1,056	992
賞与引当金	968	898
その他	3,627	3,223
流動負債合計	65,533	61,519
固定負債		
社債	375	300
長期借入金	22,313	21,589
役員退職慰労引当金	780	403
退職給付に係る負債	821	848
長期未払金	338	174
その他	3,023	3,368
固定負債合計	27,652	26,683
負債合計	93,185	88,202

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,989	3,006
資本剰余金	2,401	2,416
利益剰余金	33,258	33,932
自己株式	△329	△1,017
株主資本合計	38,320	38,338
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	191	1,005
繰延ヘッジ損益	103	△6
為替換算調整勘定	1,865	1,418
その他の包括利益累計額合計	2,161	2,417
新株予約権	34	45
非支配株主持分	761	490
純資産合計	41,277	41,292
負債純資産合計	134,463	129,495



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	118,432	96,147
売上原価	109,145	87,531
売上総利益	9,286	8,616
販売費及び一般管理費	6,587	6,156
営業利益	2,699	2,459
営業外収益		
受取利息	85	32
仕入割引	9	6
受取配当金	268	188
不動産賃貸収入	40	39
持分法による投資利益	146	66
屑売却益	109	16
雇用調整助成金等	—	69
その他	167	47
営業外収益合計	826	467
営業外費用		
支払利息	360	246
売上割引	3	2
為替差損	107	41
手形売却損	12	8
不動産賃貸原価	8	8
その他	65	124
営業外費用合計	558	431
経常利益	2,968	2,495
特別利益		
固定資産売却益	3	3
新株予約権戻入益	—	0
投資有価証券売却益	0	0
助成金収入	3	37
補助金収入	8	—
特別利益合計	14	41
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	6	2
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	—	31
その他	—	0
特別損失合計	6	35
税金等調整前四半期純利益	2,976	2,502
法人税等	1,045	1,254
四半期純利益	1,930	1,247
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	34
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,912	1,212

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,930	1,247
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37	791
繰延ヘッジ損益	7	△111
為替換算調整勘定	△550	△426
持分法適用会社に対する持分相当額	△43	△4
その他の包括利益合計	△549	248
四半期包括利益	1,381	1,496
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,378	1,468
非支配株主に係る四半期包括利益	3	27

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,976	2,502
減価償却費	1,439	1,578
のれん償却額	313	318
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△113	△7
賞与引当金の増減額(△は減少)	1	△76
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△77	27
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△174	△377
受取利息及び受取配当金	△353	△220
支払利息	360	246
持分法による投資損益(△は益)	△146	△66
投資有価証券評価損益(△は益)	—	31
売上債権の増減額(△は増加)	2,505	5,569
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,155	1,687
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,154	△4,249
未収消費税等の増減額(△は増加)	51	△14
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	9	△1
前渡金の増減額(△は増加)	43	285
未収入金の増減額(△は増加)	24	△73
未払金の増減額(△は減少)	249	△405
前受金の増減額(△は減少)	46	99
その他	△125	△143
<b>小計</b>	<b>6,031</b>	<b>6,709</b>
利息及び配当金の受取額	432	219
利息の支払額	△345	△253
損害賠償金の支払額	—	△104
法人税等の支払額	△1,168	△1,298
法人税等の還付額	263	106
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>5,212</b>	<b>5,378</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△259	△749
定期預金の払戻による収入	85	785
有形固定資産の取得による支出	△1,160	△1,357
無形固定資産の取得による支出	△56	△161
投資有価証券の取得による支出	△677	△103
投資有価証券の売却による収入	1,360	1
投資有価証券の償還による収入	54	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△249
貸付けによる支出	△449	△300
貸付金の回収による収入	285	7
保険積立金の積立による支出	△12	△26
その他	16	27
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△813</b>	<b>△2,126</b>

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,183	△165
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	—	999
長期借入れによる収入	920	1,722
長期借入金の返済による支出	△2,547	△2,073
社債の償還による支出	△74	△74
自己株式の取得による支出	△283	△687
配当金の支払額	△503	△538
非支配株主への配当金の支払額	△25	△22
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△53	△46
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△270
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,753	△1,157
現金及び現金同等物に係る換算差額	△237	△180
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	408	1,914
現金及び現金同等物の期首残高	22,404	21,595
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,812	23,509

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益または税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の当社グループに与える影響等を含む仮定について重要な変更はありません。

ただし、新型コロナウイルス感染症による経済への影響が深刻化した場合には、会計上の見積りの前提が大きく乖離する可能性があります。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	商社流通		製造		
	電子機能材	アルミ銅	装置材料	金属加工	
売上高					
外部顧客に対する売上高	35,908	59,478	12,306	10,738	118,432
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,413	2,233	60	121	3,829
計	37,322	61,712	12,367	10,860	122,262
セグメント利益	88	435	69	2,363	2,957

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,957
セグメント間取引消去	10
四半期連結損益計算書の経常利益	2,968

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	商社流通		製造		
	電子機能材	アルミ銅	装置材料	金属加工	
売上高					
外部顧客に対する売上高	26,763	47,764	11,219	10,399	96,147
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,398	308	94	58	1,860
計	28,162	48,073	11,314	10,458	98,007
セグメント利益又は損失(△)	830	326	△118	1,460	2,498

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,498
セグメント間取引消去	△2
四半期連結損益計算書の経常利益	2,495